

<出席委員会>

山口篤委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1597回	42*	32	10		76.19%
第1596回	42*	32	10	4	85.71%

*出席免除会員2

<ロータリー財団>

井上勇委員長

安藤志子会員→「財団今年度分として」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	26件	26,000円	309件	419,245円
財団	1件	10,000円	11件	100,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	156,000円
米山	0件	0円	10件	123,000円

本日のプログラム

<ロータリー財団委員会>

井上勇委員長

9/15に開催された地区ロータリー財団セミナーの報告をいたします。ロータリー財団志村委員長よりロータリー財団の現状と今後の活動というテーマでお話がありました。

・概要と特徴

ロータリー会員からの寄付を原資として、ロータリーが果たすべき種々の人道的、教育的奉仕活動を行うため1917年に発足した組織である。2010年にはロータリー日本財団も発足。特徴として、ロータリー財団はロータリーの奉仕活動であり、寄付は全て奉仕活動に利用され、その資金の流れが明確で検証可能であることがあげられる。

・寄付と資金の流れ

年次寄付(年120ドル/1人)・恒久基金への寄付(フェローまたは大口の寄付)・使途指定寄付(ポリオプラス募金、東日本大震災基金)の3つに分かれる。使途指定寄付は決められた事業へ、恒久基金と年次寄付は財団活動資金に当てられ3年後50%が地区に還元される。

・ロータリー財団プログラム

教育的プログラム…国際理解、親善を目的とする「国際親善奨学金」、世界平和に貢献する人材育成に寄与する「ロータリー平和フェローシップ」など。

人道的プログラム…クラブが企画し各種奉仕活動の補助を行う「地区補助金」、地区内の各クラブが海外のクラブと共同で人道的事業を行う「マッチング

グラント」など。

ポリオプラスプログラム…2009年「2億ドルチャレンジ」を4年に期間を延長し現在も実行中。

以上のようなことに取り組んでいます。

今年度から個人・法人の寄付が確定申告の際に申告していただければ経費とされますのでよろしくお願いたします。また、東日本大震災の復興支援としてロータリー財団では日本委員会を組織し、東北エリアからの申請に基づき集められた義援金を送金しています。



<人道的補助金委員会>

佐々木委員

補助金は地区内の18クラブ400万円ほどの申請があり7~8割ほどが認められます。内容としては環境美化、介護関係の申請が8割を占めているようです。当クラブでは172,000円が承認されました。



<国際親善奨学金・学友委員会>

井上久委員

会員の皆様には財団に多大な寄付をいただきありがとうございます。国際親善奨学金学友委員OBが主催したチャリティーコンサートに行ってきました。

